

OKADA Report

第61期 株主レポート

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 (当社は中間配当制度を設けておりますが、現在は期末配当のみを行うこととしております。) 上記のほか必要と認めるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレスは、 https://www.aiyon.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株主優待のご案内



権利確定日	保有株式数	内容
2020年 3月31日	100株以上	クオ・カード 1,000円分
	200株以上	クオ・カード 2,000円分
	500株以上	クオ・カード 3,000円分



オカダアイオン株式会社
<https://www.aiyon.co.jp/>



For the Next Stage



オカダアイオン株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くものの、個人消費は消費増税による影響が顕在化し、鉱工業生産も消費増税やグローバルな需要減退による輸出の減少などから弱含みの動きとなりました。また、世界経済は米中通商問題や英国EU離脱問題等を抱えながらも、先進国の堅調な個人消費等を背景に全体として緩やかな成長が継続いたしました。一方で、年度後半から新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内外の景況感は減退し先行き不透明感が急速に高まる状況となりました。

このような環境のもとで当社グループは、主力製品の圧砕機、油圧ブレーカ等の解体用アタッチメント、林業機械、環境関連機器等の販売に注力いたしました結果、当連結会計年度の業績は、売上高17,957百万円（前年同期比0.5%増）と10期連続の増収を確保いたしました。また、利益面では、営業利益1,368百万円（前年同期比10.2%減）、経常利益1,347百万円（前年同期比13.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益884百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い国内外の経済活動が著しく制限されることにより、今後、当業界全体においても相当な影響が予想されます。一方で、中長期的には、国土強靱化計画に基づく全国各地の老朽インフラの再整備、大都市圏を中心とした都市再開発、災害復興工事や耐震・防災構造への建替え、資源再利用のためのリサイクル、森林・林業再生プランに基づく林業機械化等、国土のレジリエンスに貢献する幅広い分野での需要が、引き続き期待できるものと思われまます。

その中、当社グループは、従業員及び関係する皆様方の安全を最優先とし、行政の指導に従いながら新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めつつ、顧客需要に対応した安定的な商品供給とアフターサービスを心がけ社会的責任を果たしてまいります。さらには、コロナ影響の長期化と収束後の需要回復も念頭に置きながら、6ヶ年の中長期経営計画「アーチ2020作戦」の最終年度として、お客様ニーズに真摯に向き合うとともに社内体制の整備を図り、全グループ会社一丸となりこの難局に対処していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長
岡田 祐司

トップメッセージ

Q 就任から一年、現在の心境はいかがでしょう？

あっという間の一年だったと感じております。社長交代にあたって全国のお客様へごあいさつさせていただきました。これからの当社に対する期待を感じるとともに、改善点についてもご意見を頂戴いたしましたので、是非取り組んでまいりたいと考えております。

また、ごあいさつにあたって各営業所を訪問し、社員に同行して貰いましたが、その道中で各社員のやりがいや悩みを直接聞いたことも、私にとって財産だと感じております。

さらなる成長に向けた改善を行うため、各部門への指示だけでなく、案件によってはプロジェクトを立ち上げて対応していく予定です。

Q 今期、当社を取り巻く環境はいかがでしたでしょうか？

国内の耐震・建替え解体需要については引き続き旺盛であったと考えております。ただ、従来解体案件の中心であった首都圏が控えめで、代わりに西日本での需要が高まっていた点が特徴的です。

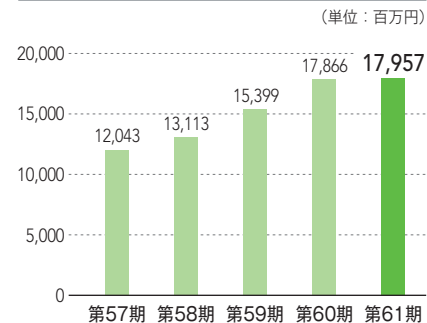
近年は人手不足の影響を受けて解体建機が大型化しており、短期間で一気に解体工事を行う傾向にあります。従来の工場設備では大型機の修理ができないケースもあるため、各営業所の修理工場を順次リニューアルする計画を打ち立てておりました。

西高東低の需要の中、この方針のもと今期四国営業所を移転・新設し、大型機修理を可能にできたことは、良かったと考えております。

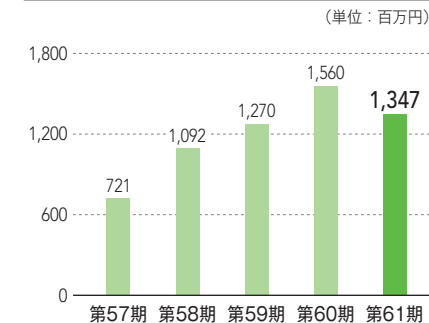
海外においては、オランダの駐在員事務所を「Okada Europe B.V.」として現地法人化したこと

■ 財務ハイライト

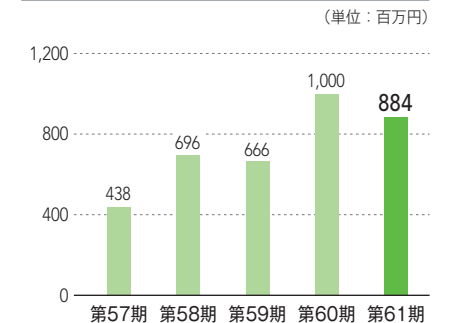
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



もあり、欧州での売上が飛躍的に伸びました。北米も一時苦戦したものの復調し、年度末までには前年同期比4%増の売上を達成できました。

アジアでの売上は景況感の悪化もあり苦戦中ですが、タイに開設した駐在員事務所にて情報収集に努め、現地ニーズに沿った商品ラインナップを検討し、是非巻き返しを図りたいと考えております。

Q コロナウイルスの影響は いかがでしょうか？

当社グループ内で感染した社員はおりません(2020年5月末現在)。感染防止に向けて管理部門を中心に対策を検討し、交代勤務・時差出勤・テレワーク等を実施するとともに、不要不急の出張禁止を徹底したこと等が役立ったと思われま

す。幸い当社社員とその家族については影響がなかったものの、コロナウイルスが世界経済に及ぼす影響は大きく、今後の景況感の悪化が予想されます。

とはいえ、当社商品とその事業は「社会の持続的な成長」に直結するものだと考えております。リーマンショック後もそうでしたが、社員が力を合わせ、できることを一つ一つやっていけば、必ず乗り越えていけると信じております。

Q 今後特に注力を予定する分野は ありますか？

就任当初からお伝えしております通り、私は「人を大切に」をモットーとした経営を心掛けております。

人事戦略においては、各担当者のバラつきを抑えるとともに省力化を図り、「仕事が楽しい」と感じてもらえる職場環境づくりに注力していきたいと考えております。

またマーケット戦略としては、2020年10月に予定している横浜営業所の移転・新設(湘南営業所)を含む営業拠点の充実や生産力の強化、北米・欧州・アジアの海外三極体制確立、AI・IoTに対応する新規事業にも取り組んでまいります。

最後に、経営基盤強化のため、2020年6月18日開催の株主総会で選任された小林恵社外取締役には、是非積極的なご意見を頂戴し、これまで当社が不足しがちだったジェンダーダイバーシティの観点を経営に反映させるとともに、国土強靱化・環境保全に向けたSDGsへの当社取組について、幅広くお伝えしていきたいと考えております。

Q 最後に、株主の皆様 メッセージをお願いします。

いよいよ2020年度は6ヶ年の中期経営計画「アーク2020作戦」の最終年度です。計画当初は約100億円の売上であった当社も、今期は約180億円の売上規模まで成長することができました。これも株主の皆様、取引先・協力会社の皆様、そして社員とその家族の皆様のお蔭です。

コロナウイルスの影響もあるかと思われま

SDGs(持続可能な開発目標)貢献のための取組

当社は都市再生、森林再生に寄与する、解体用建機、林業・金属リサイクル用機械、ケーブルクレーンなどの提供を通じて、当社の経営理念である「社会に存在価値ある会社」の実現を目指してまいりました。2015年に国連サミットで採択された、持続可能な社会を実現するための開発目標「SDGs」への社会的な関心が高まる中、経営理念の実現を通じて引き続き社会的役割を果たしてまいります。



11 住み続けられるまちづくりを 12 つくばる責任 都市における リサイクルシステムを支える 解体・リサイクル事業用機械



解体用機械(大割機)



金属リサイクル用機械
(スクラップグラブ)

15 陸の豊かさも守ろう 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 国内の山地・森林の資源の 有効活用にご貢献する 林業機械やケーブルクレーン



林業機械
(ハーベスタ)



木材破砕機
(ログバスター)



ケーブルクレーン

New Action

ハツ場ダム建設事業にご貢献

1947年のカスリーン台風では、関東地方を北から東へ流れる利根川流域で甚大な水害が発生しました。これを機に今から68年前に計画された「ハツ場ダム」(やんばだむ・群馬県吾妻郡)が、2020年3月31日に完成しました。ダム建設にあたっては当社グループの「株式会社南星機械」が18tと4.5tケーブルクレーンの2基を納入、ダム全体の半分にあたる打設(生コンクリートの流し込み)に役立てられました。

2019年に台風19号が発生し、東日本地域に甚大な被害を及ぼしましたが、試験的に水を溜めていた本ダムにより、利根川下流域を危機的状況から救ったことをご記憶の方も多く居られることと思います。水量を調節して洪水を防ぎ国土強靱化に役立つだけでなく、「水力発電」を行って生活にも役立つダム。現在日本国内では約30箇所で建設が予定されている中、当社グループは今後も貢献してまいります。



01 オカダアイヨングループのマスコットキャラクター誕生！

2020年4月に当社グループのマスコットキャラクターが誕生しました。名前は「オカダライオン」です。昨年より、社内だけではなく、一般の方からもキャラクター案を募集しておりました。応募していただいた多数の案の中で一般の方が考案した内容に決まりました。

考案者の想いとしては「社名とキャラクターがすぐに結びつき、色々な方に覚えてもらいたい。そのためにオカダアイヨンの特徴を出すためにオカダライオンの耳をクラッシャーにして、服装は青いつなぎを着用するデザインにしました。」とのことでした。

今後当社グループのPR活動を活性化するため、様々な場面で登場していく予定です。



オカダライオンの特徴

性格 人に優しく、自分にも優しい
特技 社内全員の気持ちをひとつにまとめる
雄叫び
好きな食べ物 からあげ



02 New Lineup

1 TS-Wカッター (TS-WB700CV/800CV/900CV)

大型プラント、倉庫等の鉄骨構造物の解体で活躍します。前モデルのカッター刃形状であるプレス&カット方式を改良し、1クラス上の切断力が可能になった円弧形状刃を採用、併せてメンテナンス性・耐久性を向上しました。



2 アイヨンシャー (AS-60C)

北米市場で需要の多いスキッドステアローダー用アタッチメントとして開発。狭い現場でも油圧旋廻ができるため、作業効率が高まります。主に軽量鉄骨やスクラップの切断で活躍します。



3 TS-Wクラッシャー (TS-WD1700V)

大型化するコンクリート構造物の柱や基礎部分の解体作業で活躍する大型クラッシャーです。フルモデルチェンジにより軽量化(4,760→4,530kg)と破碎歯開口幅アップ(1,600→1,700mm)等で現場ニーズに応えます。



03 四国営業所リニューアル移転

2019年11月、当社四国営業所と株式会社南星機械四国営業所を統合し愛媛県伊予郡松前町に事務所兼整備工場を新築しました。整備工場には15t、10t、5t、2.8t×2基の天井クレーン計5基を設置し大型化する解体



アタッチメントや大型環境機械の整備・修理に対応します。また、当社8名・株式会社南星機械2名の計10



名が相互の業務内容や得意分野への理解を深め協力し、四国エリアのお客様により良い商品とサービスを提供してまいります。

04 現地法人Okada Europe B.V. スタート

2020年1月よりOkada Europe B.V. が現地法人としてスタートしました。現在ヨーロッパ25ヶ国49販売代理店を設定完了し、現地に根付いた販売展開にてヨーロッパの



会社として認知が進んでおります。社員5名にて、オランダ・ロッテルダムより、ヨーロッパ、アフリカ地域への販売・部品センター、サービスサポートの拠点として当社販売店・お客様のニーズ

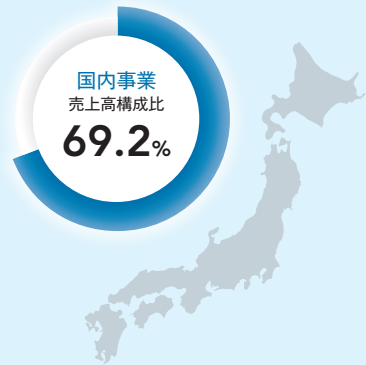
に応え、さらなる需要を現場で捉え、積極的な展開を進めてまいります。

また、昨年ヨーロッパでのマーケティングで得た現地ニーズに合わせた商品導入(ソーティンググラブ)を今年中に行い、さらなる安定した収益UP、販売体制強化を継続して進めてまいります。



セグメント別事業の概況

国内事業



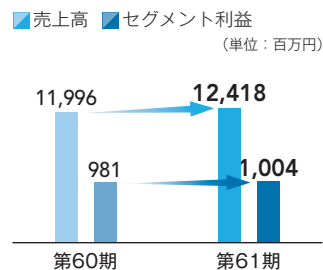
主力の圧砕機は、2019年10月の台風被害による各社のショベル出荷減による納期ずれの影響がカバーしきれずに売上高は6,055百万円(前年同期比4.0%減)。

環境関連機器は大型木材破砕機等が順調に納入できた結果、売上高は1,549百万円(前年同期比10.5%増)。

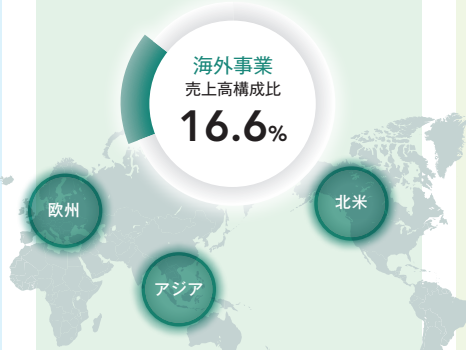
つかみ機は需要が高まり売上高890百万円(前年同期比50.5%増)と大幅増加。油圧ブレーカ売上高は870百万円(前年同期比3.7%増)。

アフタービジネスについては、補修部品売上が増加し、売上高は2,163百万円(前年同期比7.2%増)。

その結果、セグメント利益は1,004百万円(前年同期比2.3%増)。



海外事業

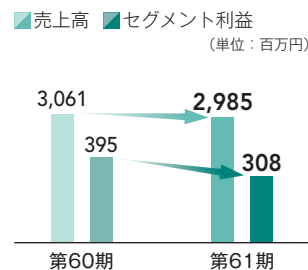


主力地域の北米では、圧砕機等の商材の拡大や営業プロモーションの強化策が奏功し売上高2,153百万円(前年同期比4.0%増)。

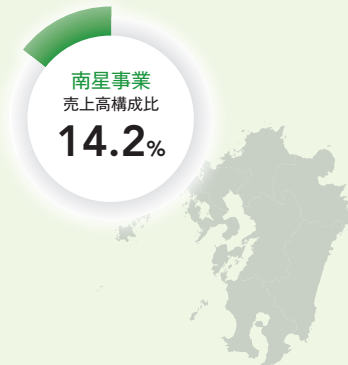
2020年1月より現地法人化した欧州は、順調に販売網を拡大し、売上高361百万円(前年同期比22.8%増)と大幅増加。

アジア地域は景況感の悪化により価格競争が激化し売上高411百万円(前年同期比35.2%減)と大幅減収。

その結果、セグメント利益は拠点展開の経費増が影響し308百万円(前年同期比22.1%減)。

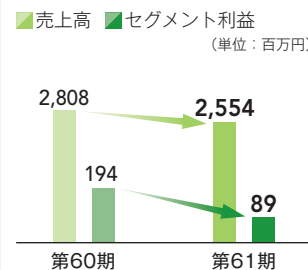


南星事業



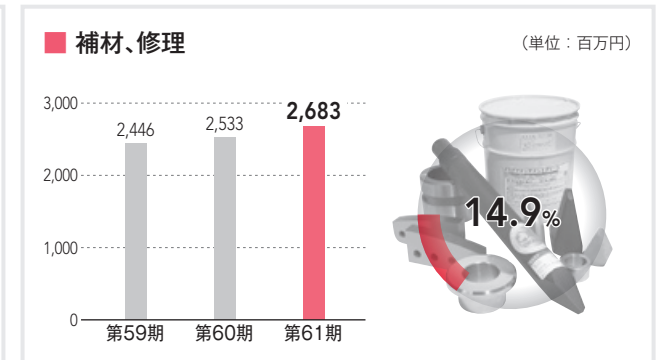
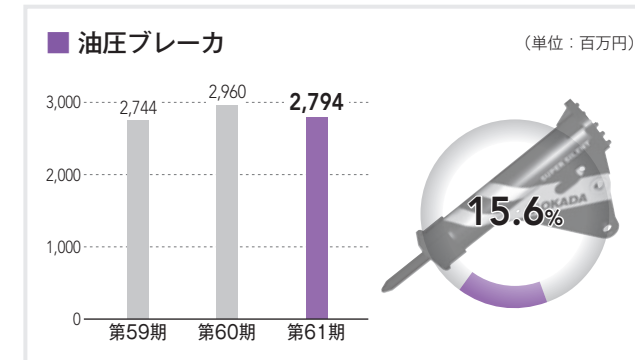
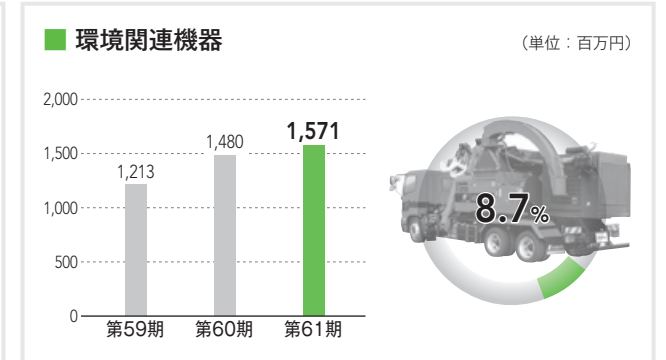
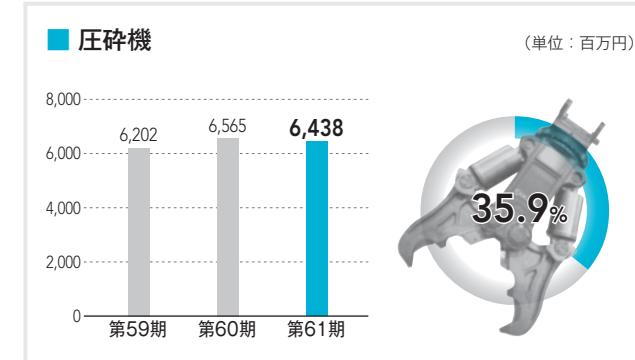
グループ内の製造協力や販売協力による協業体制の強化、主力のグラブ・ウインチの新型モデルの投入、機会損失を抑えるための計画生産導入等の施策も行ったが、施策浸透の遅れやショベル出荷減による納期ずれの影響により売上高2,554百万円(前年同期比9.0%減)。

その結果、セグメント利益は、当初からの予定範囲内ではあるものの、処遇改善による人件費等の経費増加要因を売上でカバーすることができず89百万円(前年同期比54.3%減)。

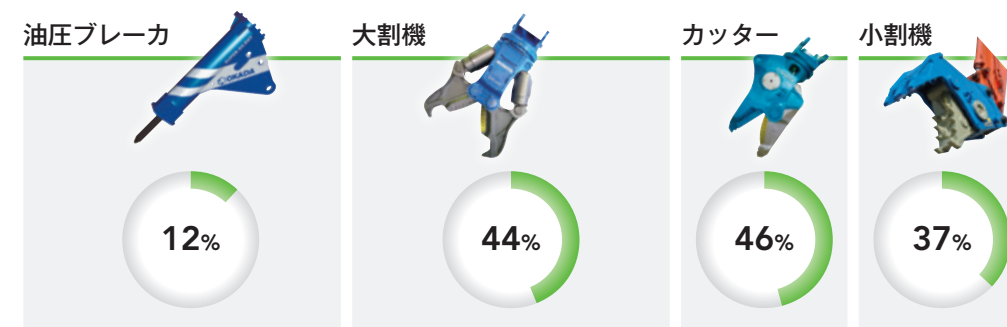


品目別売上高

※1. 円グラフは主要機種種の売上高構成比。
※2. 南星事業は含まれておりません。



主力解体機国内シェア状況



← マーケットの規模 →

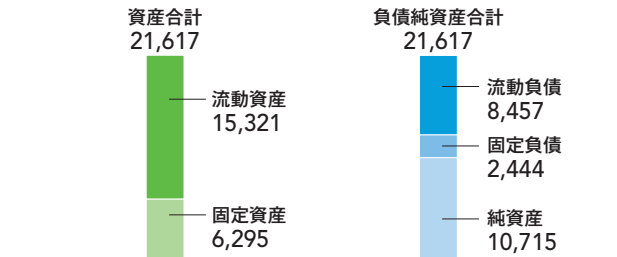
※1. 円グラフは国内マーケットシェア。 ※2. 2019年度日本建設機械工業会発表資料を基に当社推定。

連結財務諸表(要約)

■ 連結財務状況

当期末の資産の状況

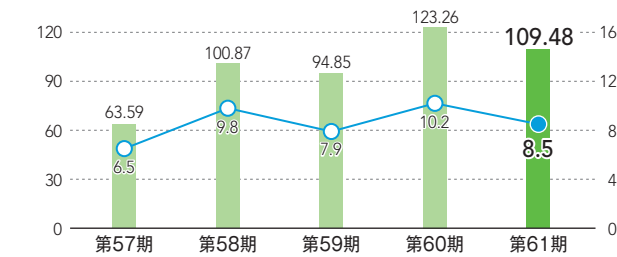
(単位:百万円)



■ 1株当たり情報

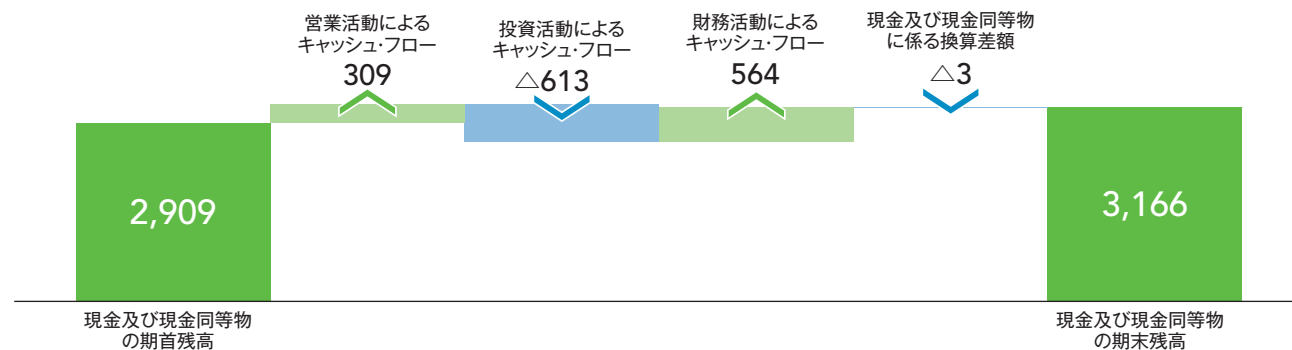
1株当たり当期純利益/ROE

■ 1株当たり当期純利益(円) ● ROE(%)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書

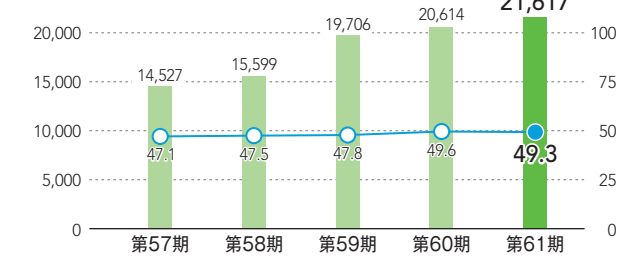
(単位:百万円)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

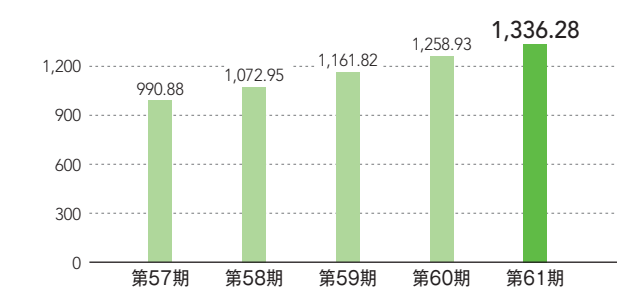
総資産/自己資本比率

■ 総資産(百万円) ● 自己資本比率(%)



1株当たり純資産

(単位:円)



会社概要/株式情報

■ 会社の概要

(2020年3月31日現在)

商号 オカダアイヨン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION
本社 〒552-0022
大阪市港区海岸通四丁目1番18号
TEL. 06-6576-1281
設立年月日 1960年9月1日
資本金 2,221百万円
従業員数 194名

[主要な事業内容]

- ▶ 油圧ブレーカ TOP、TOP-V、超低騒音TOP-S、TOP-J
- ▶ 圧砕機 TS-Wクラッシャー、TSRCクラッシャー、TS-Wカッター、TS-Sカッター、コワリクン、マグネットコワリクン
- ▶ 環境関連機器 ビッグバス、ログバスター、タブグラインダー、ウッドホグ、アマダス、アイヨン与作プラント関連機器

[主要な営業所]

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所・横浜営業所・中部営業所・北陸営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所・東京オフィス・海外事業所・タイ駐在員事務所

[オカダアイヨングループ]

株式会社アイヨンテック・株式会社南星機械
Okada America, Inc.・Okada Europe B.V.

■ 役員

(2020年3月31日現在)

代表取締役会長	荻田俊幸
代表取締役社長	岡田祐司
常務取締役	前田信男
取締役	折西卓
取締役	山尾卓
取締役	川口照
取締役	岡島政
取締役	古本富
常勤監査役	打田幸
監査役	稲田正
監査役	中尾正
	幸男
	和浩
	均生
	毅孝

■ 株式情報

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,378,700株
株主数 11,135名

■ 大株主[上位10名]

(2020年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	532,800	6.67
岡田勝彦	369,300	4.62
岡田眞一郎	348,000	4.36
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	342,100	4.28
極東開発工業株式会社	251,300	3.15
株式会社三井住友銀行	242,930	3.04
株式会社三菱UFJ銀行	220,000	2.75
株式会社南星	200,000	2.50
株式会社テイサク	185,000	2.31
株式会社池崎鉄工所	180,100	2.25

(注) 1. 当社は、自己株式を402,015株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 配当金と配当性向の推移

